株式会社タムラ製作所

2006年3月期　決算説明会

2006年5月16日

TAMURA

目次

1. 2006年3月期決算概要

2. 2007年3月期通期業績予想と事業戦略

1. 2006年3月期決算概要

ハイライト(要約損益計算書)

増収・増益

【百万円】

	05/3	06/3	対前年同期比較	
			増減	率
売上高	75,971	78,804	2,833	3.7%
営業利益	2,839	3,471	632	22.3%
営業外損益	-230	379	609	-
経常利益	2,608	3,850	1,242	47.6%
特別損益	-636	-1,266	-629	-
税引前利益	1,972	2,584	612	31.0%
当期純利益	601	773	172	28.6%

06/03 期中平均実績為替レート: 113円 32銭

06/03 期中平均社内為替レート: 109円 56銭

■売上高は、競争激化による商品価格の低下はあるものの堅調な市場環境もあり増収

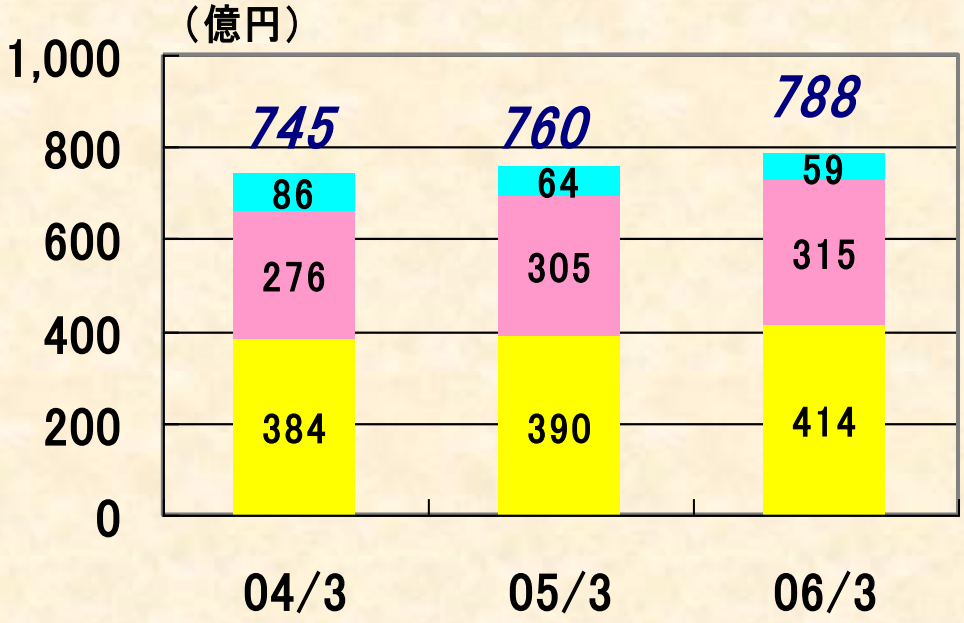
■原油価格や銅・鉄類などの原材料価格の高騰の影響はあるものの、プロダクトミックスの改善による原価改善や経費削減効果などにより、営業利益は大幅に改善

■ 為替の円安傾向などもあり、経常利益、当期純利益も大幅に増益

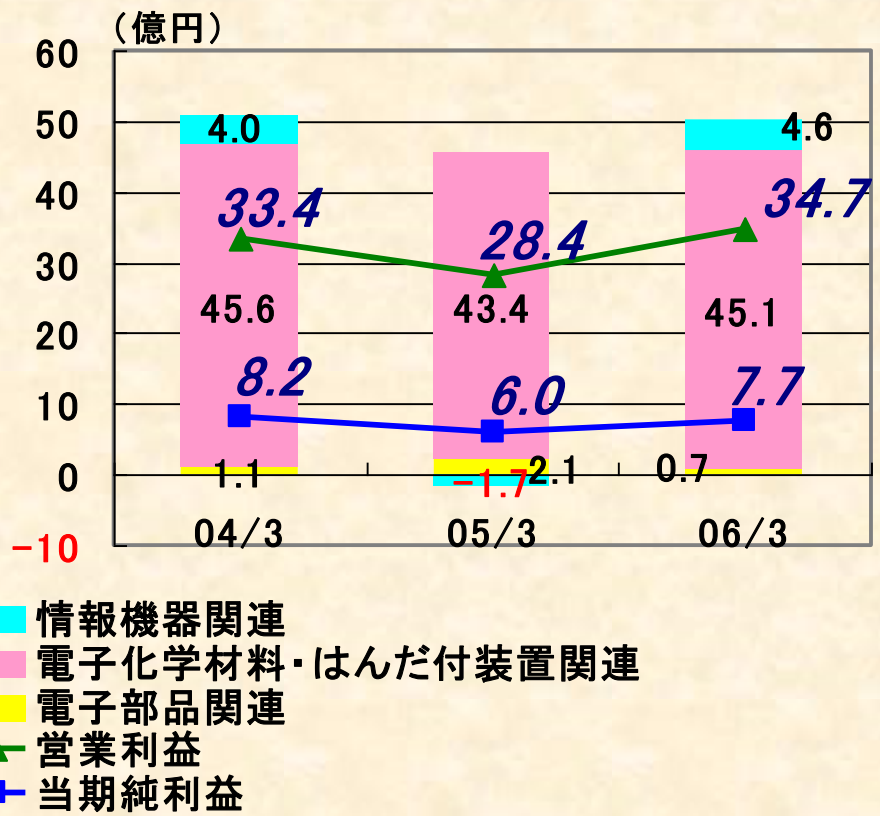
事業部門別の売上高・利益推移

引き続き電子化学材料・はんだ付装置事業が堅調に売上・利益を牽引、
情報機器事業の黒字転換もあり、営業利益は大幅改善

【売上高】



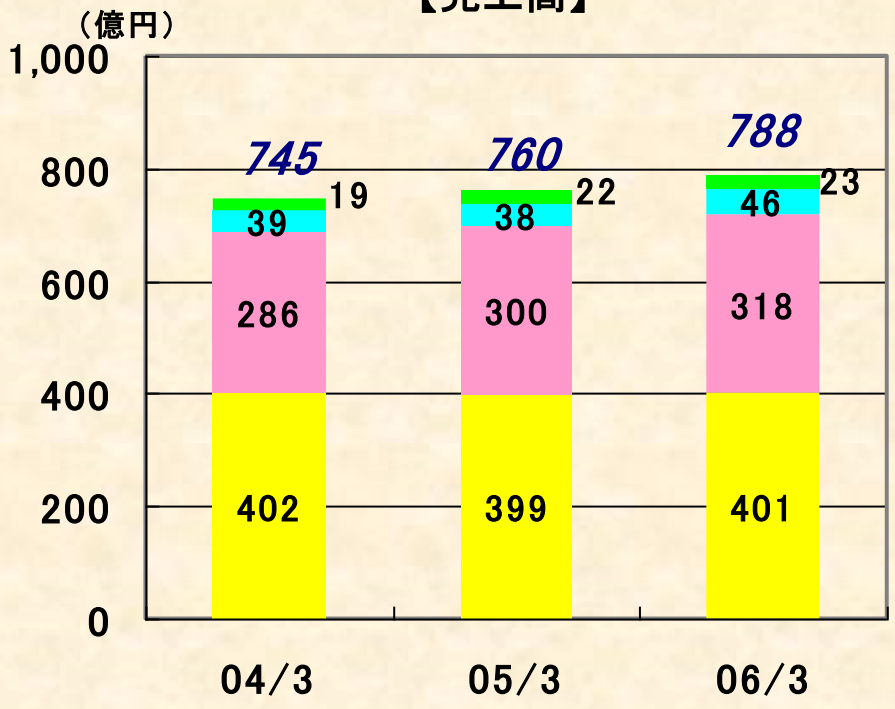
【営業利益（当期純利益）】



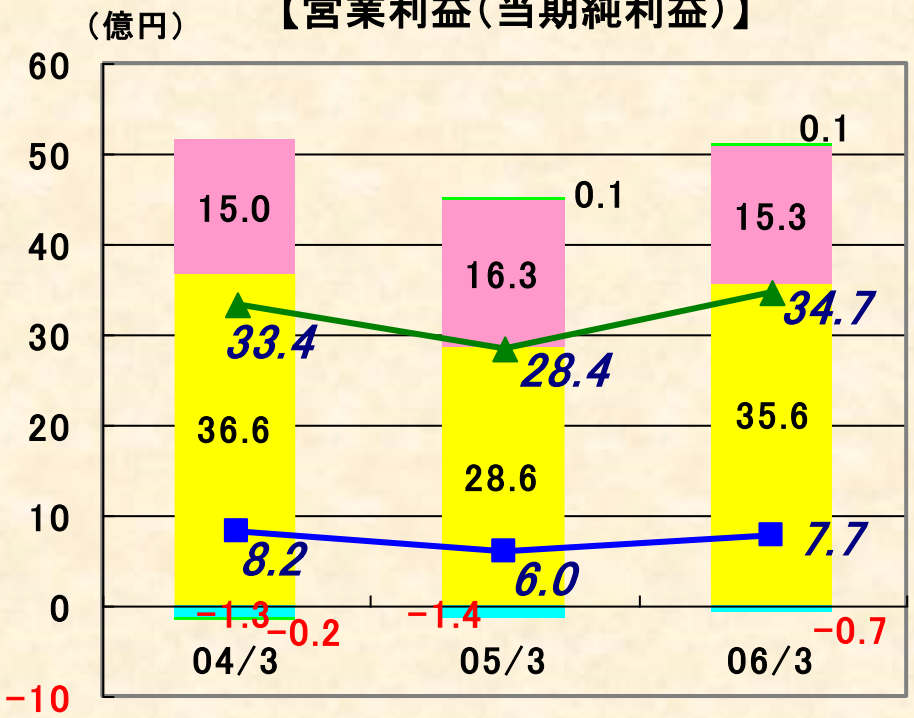
地域別の売上高・利益推移

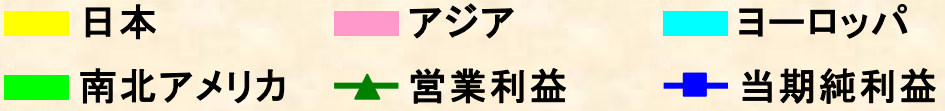
日本は大幅な収益改善、引き続きアジアは中国を中心に堅調に推移、
欧米地域も改善途中ながらも回復基調へ

【売上高】



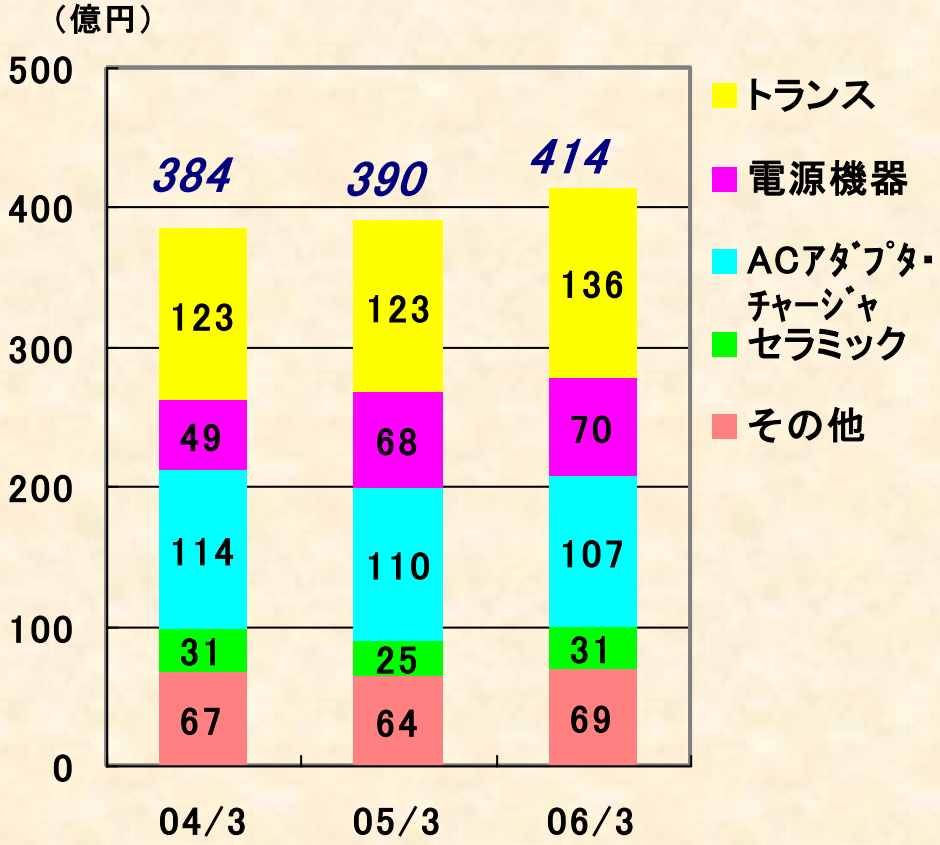
【営業利益（当期純利益）】

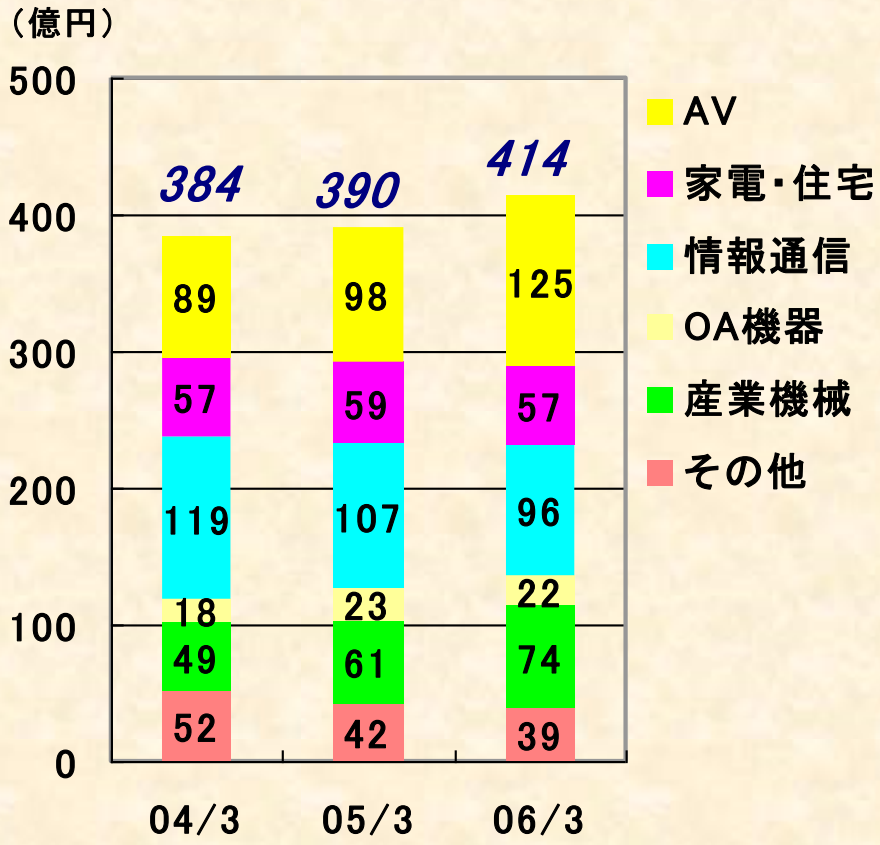




電子部品事業の売上高推移

デジタルAV、産業機器向け部品は引き続き堅調に推移するも、
情報通信関連など競争の激化する市場では商品価格の下落と
原価上昇などの厳しい環境もあり、やや下降傾向





電子部品事業　-トピックス-

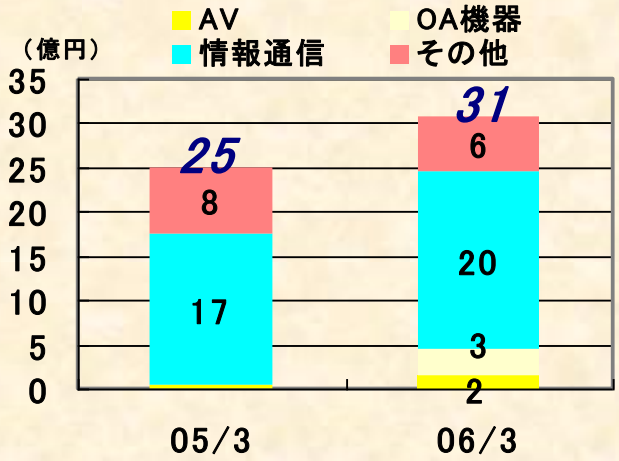
・戦略事業であるセラミック事業において
用途拡大・拡販が堅調に進展

①プリンタ向け高圧用圧電トランス、
下期より堅実に売上に結びつく
→ 水平展開による他ﾓﾃﾞﾙへの採用も決定

②ノートPC向け圧電インバータ主要PCメーカー
への採用率UP

③PC用液晶ﾓﾆﾀｰ関連も堅調に売上貢献

【セラミック事業用途別売上高推移】



プリンタ用圧電トランス

圧電インバータ

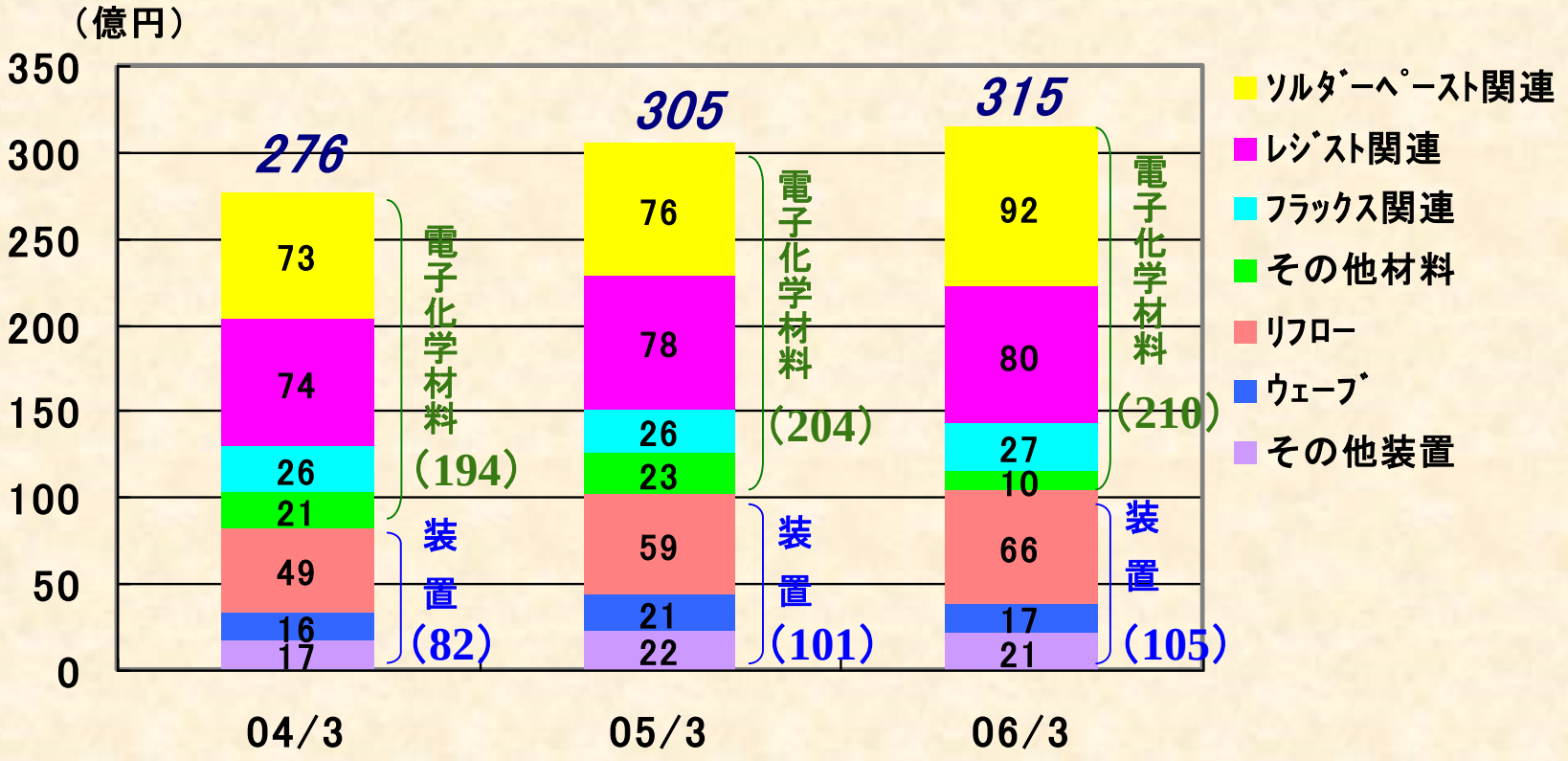
・海外における強化施策の実施

①アセアンエリアの再構築
→ インドネシア拠点の閉鎖に伴い、マレーシア拠点への事業集中
による生産の効率化、採算性の改善

②東欧における生産体制強化（タムラヨーロッパ［チェコ］の開設）

電子化学材料・はんだ付装置事業の売上高推移

引き続き鉛フリーなど環境対応の需要増大に伴い、
鉛フリーはんだ材料、リフローはんだ付装置などが好調に推移



電子化学材料・はんだ付装置事業
-トピックス-

・はんだ付装置事業における拡販強化
①上海・大連への販社設立による中国市場への拡販体制強化
②最新型マルチ加熱方式リフローはんだ付装置をはじめ、新機種の市場投入による競争力強化

鉛フリー対応マルチ加熱型N2リフロー装置
「TNP25-538EM」

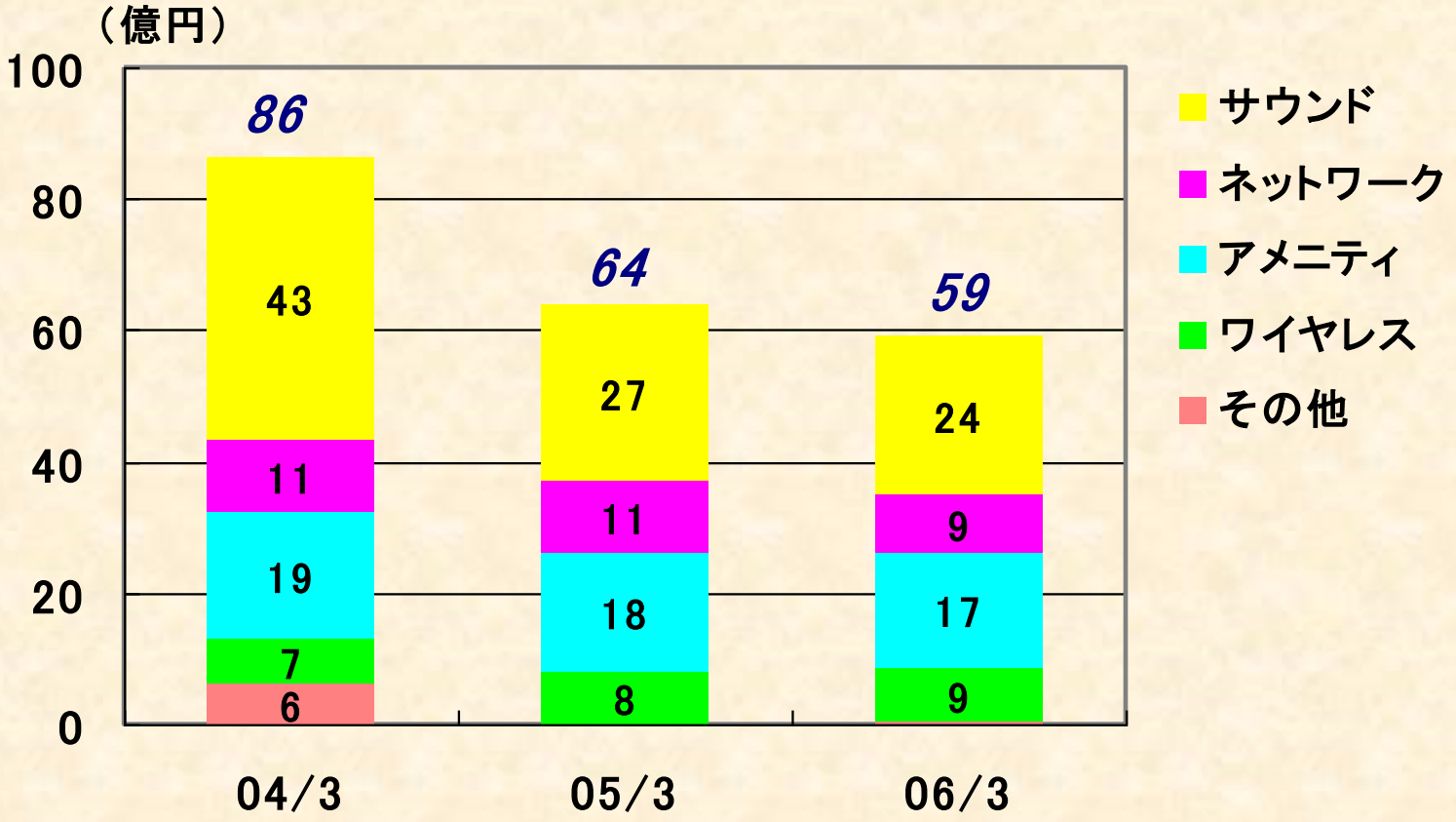
新型フルチャンバー式ウェーブソルダリングシステム
「TNW33-36EF」

・電子化学材料事業におけるソルダーペースト関連好調
①新製品：TLF-204-111シリーズが
市場での評価も高く、大手メーカーへの
採用率がUPし、売上に貢献
②半導体パッケージ向け材料も堅調に売上に貢献

鉛フリーソルダーペースト
TLF-204-111シリーズ

情報機器事業の売上高推移

放送関連設備の地方局へのデジタル化シフトは進むものの、
商品の低価格化や各市場における需要の伸びもスローな展開となり減収



情報機器事業　- トピックス -

TAMURA

・次世代デジタル音声卓AMQ5500は、株式会社文化放送殿へ4卓一括納入するなど好調に推移

AMQ5500

音声中継車

AMQ7700

・昨年のInterBEE2005で発表した大型デジタル音声卓AMQ7700は評判を呼び、計画以上の先行受注を獲得し、1号機を今夏納入予定

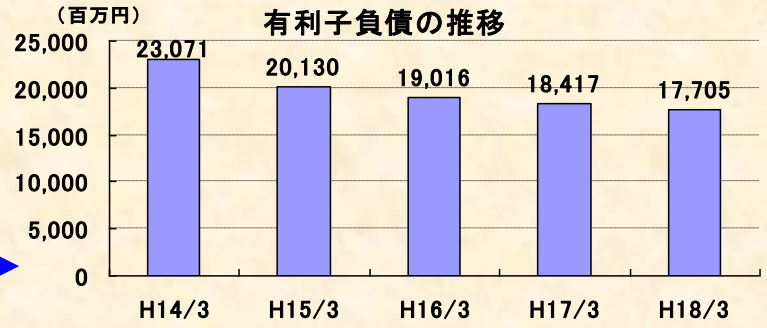
要約貸借対照表

【百万円】

	05/3	06/3	対前年同期増減
流動資産	50,119	52,390	2,270
（現預金）	9,466	12,233	2,767
（売上債権）	26,913	25,264	−1,648
（棚卸資産）	11,858	12,338	480
固定資産	26,295	26,535	240
（有形固定資産）	15,963	17,074	1,111
（無形固定資産）	998	1,188	190
（投資、その他）	9,333	8,272	−1,061
資産合計	76,414	78,925	2,510
流動負債	27,563	30,418	2,854
（仕入債務）	12,051	12,875	823
固定負債	9,816	8,239	−1,576
負債中　有利子負債	18,417	17,705	−711
負債計	37,379	38,657	1,278
資本計	38,912	40,091	1,179
負債・少数株主持分・資本計	76,414	78,925	2,510

■ 受取手形流動化実施
（31億円）

■ 有利子負債　さらに減少
・返済50億円、借り換え40億円



■株主資本比率 50%を保持

要約キャッシュフロー

営業キャッシュフローが大幅に増加
→将来の事業拡大資源

単位：百万円

	05/3	06/3	増減	コメント
営業活動による キャッシュフロー	429	5,858	5,429	受取手形流動化31億円 通常ベース→27億円
投資活動による キャッシュフロー	−1,740	−1,541	199	ほぼ前年並み投資
フリーキャッシュフロー	−1,311	4,317	5,628	将来の事業拡大資源
財務活動による キャッシュフロー	−1,193	−1,883	−689	借入金の借り換え （返済50億円、借り換え40億円）
キャッシュの増減	−2,476	2,645	5,121	
キャッシュの残高	9,306	12,012	2,705	手持ち現金が大幅増

2. 2007年3月期通期業績予想と事業戦略

ハイライト（損益見通し）

収益性の更なる向上を最優先、当期純利益は大幅に増額

【百万円】

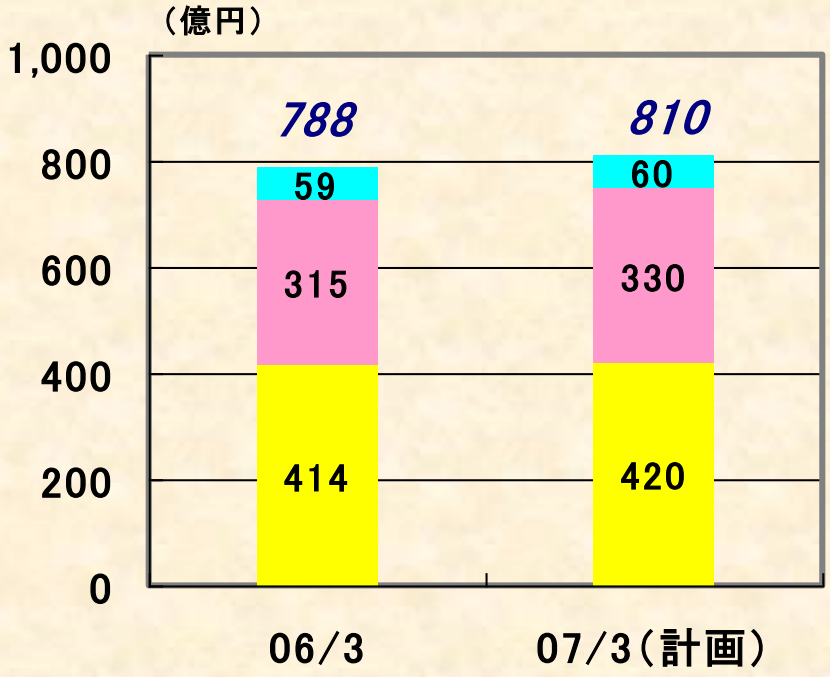
	06/3	07/3	対前年比較	
			増減	率
売上高	78,804	81,000	2,196	2.8%
営業利益	3,471	4,000	529	15.2%
経常利益	3,850	3,400	−450	−11.7%
当期純利益	773	1,500	727	94.0%

07/3　平均為替レート　：　110円

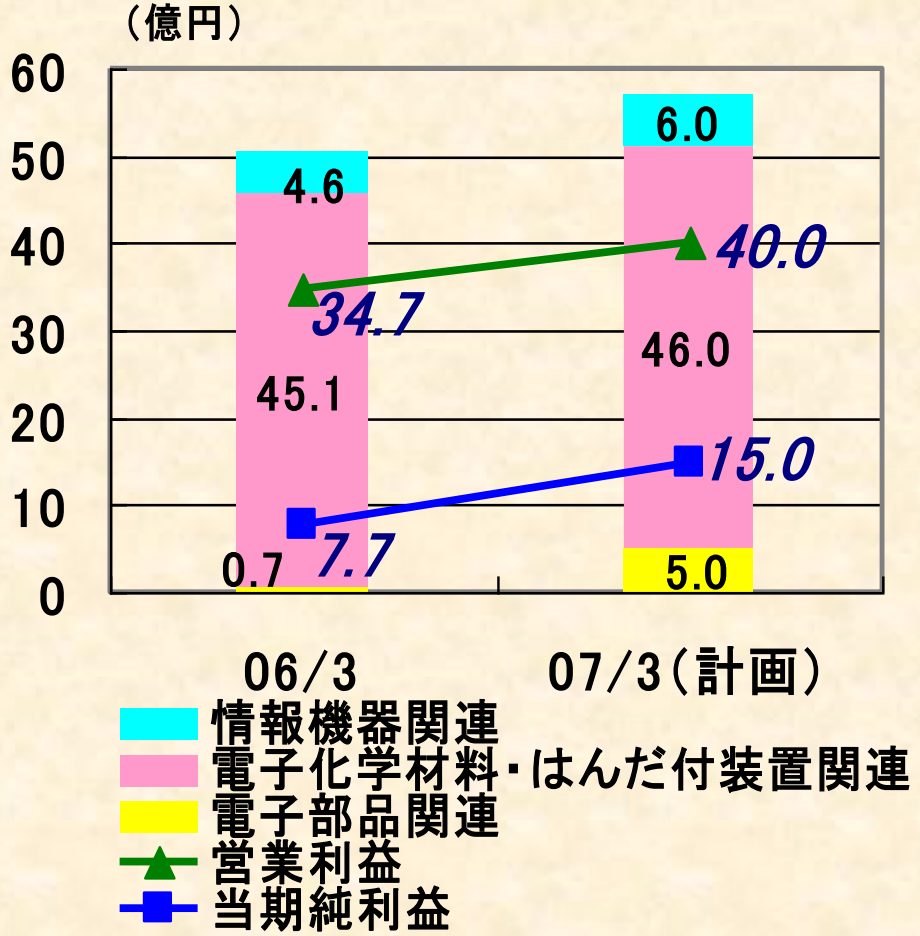
事業部門別の売上高・利益の見通し

RoHS指令を背景に、引き続き電子化学材料・はんだ付装置事業が牽引

【売上高】



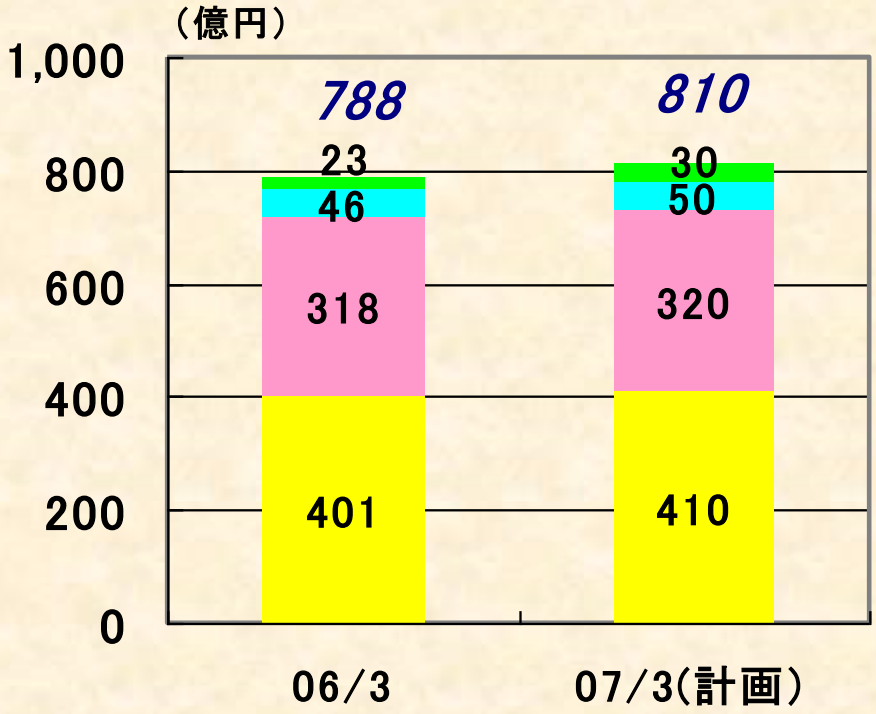
【営業利益（当期純利益）】



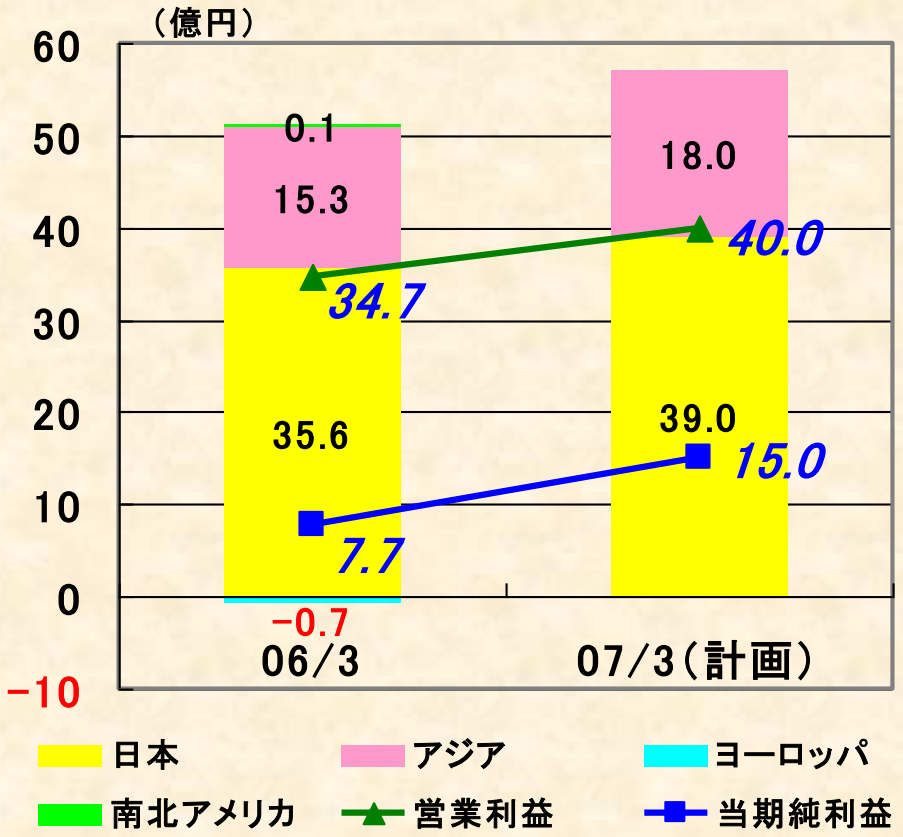
地域別の売上高・利益の見通し

グローバル展開の推進による海外市場の強化

【売上高】

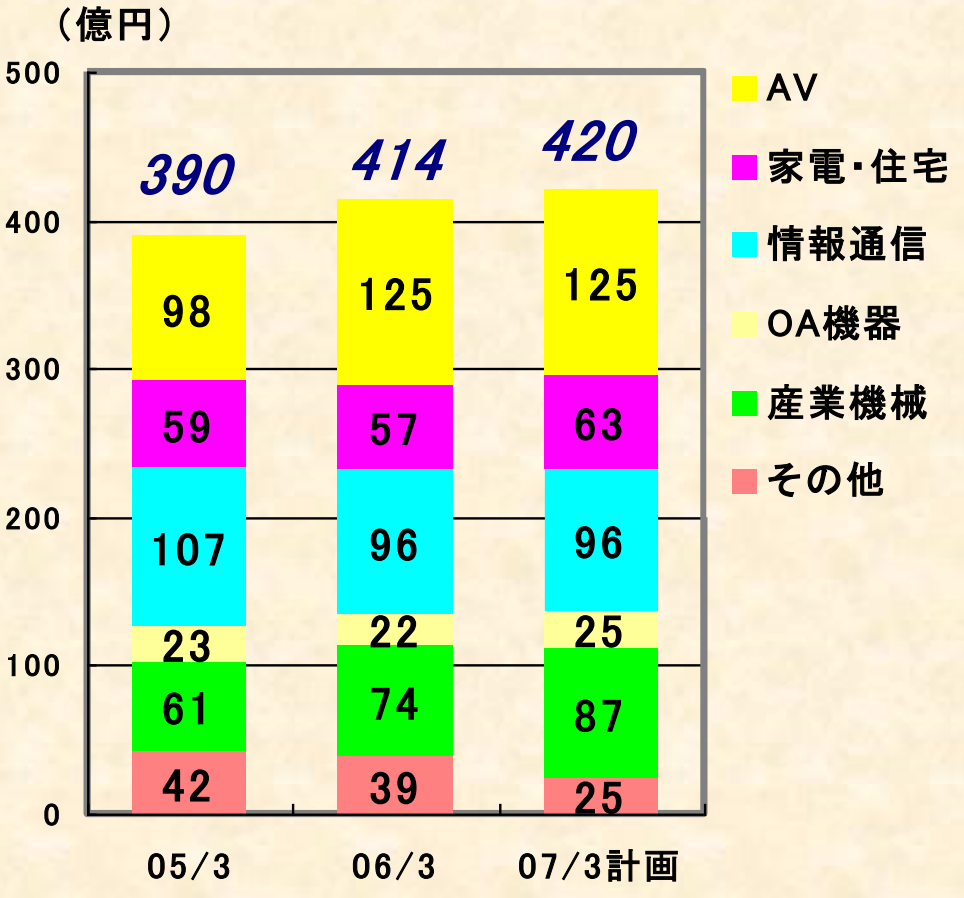


【営業利益（当期純利益）】



事業戦略
－電子部品事業Ⅰ－

- ERP活用による連結原価ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ強化と不採算ｱｲﾃﾑの撲滅
- ﾏｰｹｯﾄ･ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄﾐｯｸｽの改善･見直しによる収益性の向上
- 商品の低価格化、原材料高騰など厳しい市場環境へのリスクマネージメントの強化



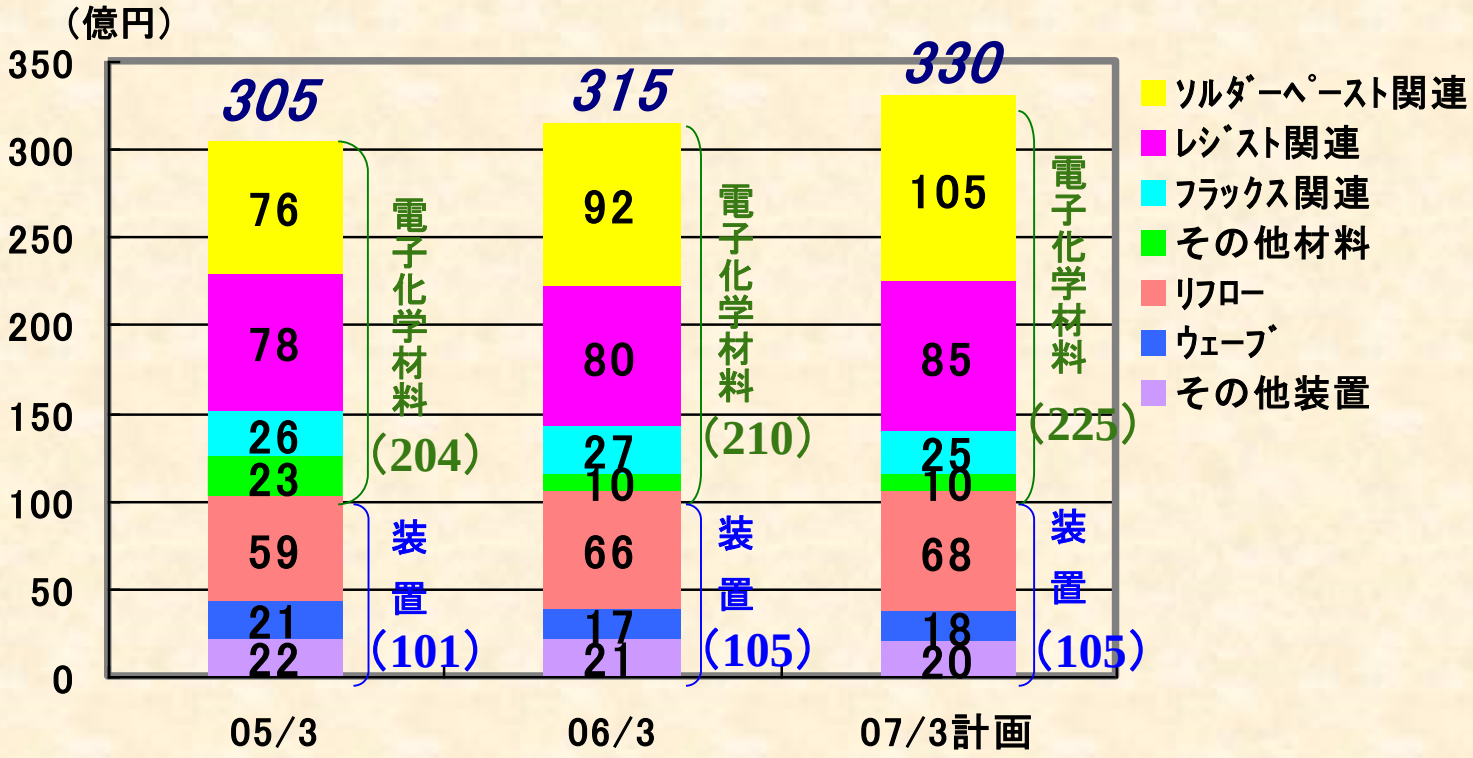
事業戦略
－電子部品事業Ⅱ－

- グローバル展開の強化
  1）M&A実施による米国地域における医療・産業機器向け
  ｶｽﾀﾑ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ電源製品の拡大
  2）セラミック事業における中国・台湾市場への積極参入
  3）産業機器向け製品（電源・電流ｾﾝｻなど）のグローバル展開
- 成長市場（自動車、ｴﾈﾙｷﾞｰ関連）へ資源集中、競争力強化
- “音へのこだわり”を新たな形で表現し、広範囲の市場へ拡販
  1）ミドル～ハイエンド・オーディオ向け製品の開発促進による
  市場の深耕とシェア拡大
  2）管球式オーディオ市場における広範囲のマニアを再発掘
  → 管球ｵｰﾃﾞｨｵﾌｧﾝ向けのｺﾐｭﾆﾃｨWebｻｲﾄを開設

Information - 管球オーディオサイト -

事業戦略
－電子化学材料･はんだ付装置事業Ⅰ－

- RoHS指令施行における「鉛フリー材料」での更なる必勝に向け、新製品投入･営業力強化によるｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ市場でのｼｪｱ獲得
- 材料～実装技術のﾄｰﾀﾙ･ｿﾘｭｰｼｮﾝを生かした拡販強化
- はんだ付装置事業におけるｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ展開の促進



事業戦略
－電子化学材料･はんだ付装置事業Ⅱ－

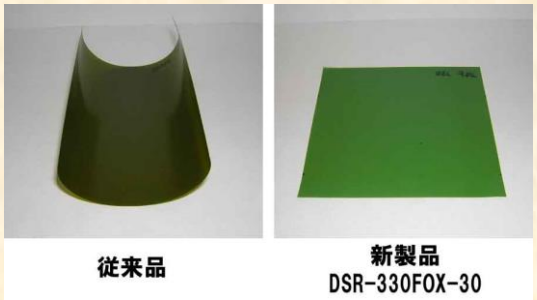
TAMURA

- はんだ付装置事業における欧米市場展開
  1）東欧：タムラヨーロッパ[チェコ]内にデモラインの構築と販売強化
     ・電子部品事業とのコラボレーションによる欧州市場における
       はんだ付装置の拡販を展開
  2）北米車載市場への積極的プロモーションによる拡販
     ・鉛フリー化が、まだこれからである車載市場へ積極展開の実現

- リフロー実装ライン・トータル・ソリューション（ソルダーペースト・ペースト印刷機・ペースト印刷検査機、リフローはんだ付装置）展開による拡販

- 新規材料の新市場展開
  1）LEDなどの低温接着市場へ導電性接着剤で積極参入
  2）フレキシブル基板ソルダーレジスト市場へ新規参入

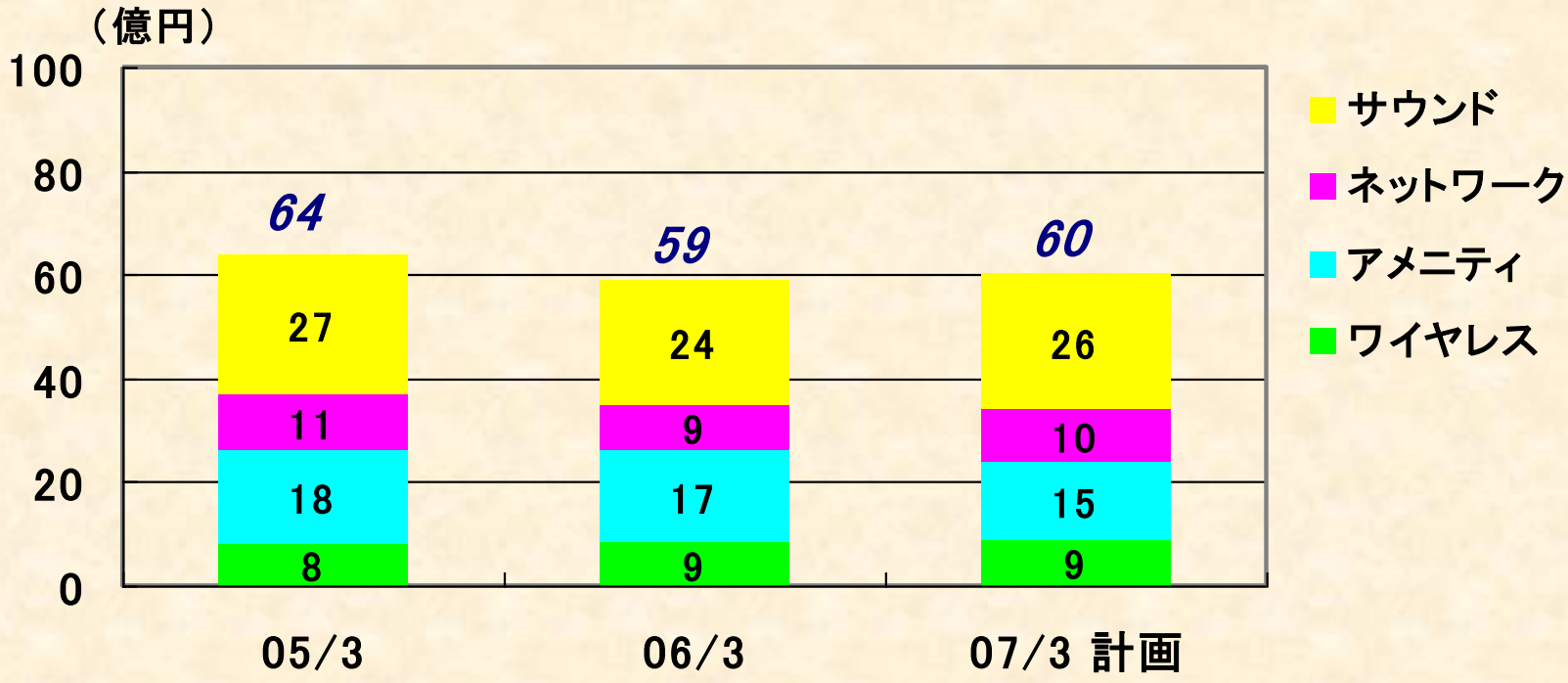
導電性接着剤
（TCAPシリーズ）



フレキシブル基板向け
ソルダーレジスト
（DSRシリーズ）

事業戦略
-情報機器事業Ⅰ-

- 事業構造改革による更なる収益性の改善
- NTTグループ殿向け次世代監視システムの本格導入による ネットワークインフラ事業の拡大
- 放送機器関連事業の海外展開の推進



事業戦略
－情報機器事業Ⅱ－

TAMURA

➢サウンド事業のアジア展開

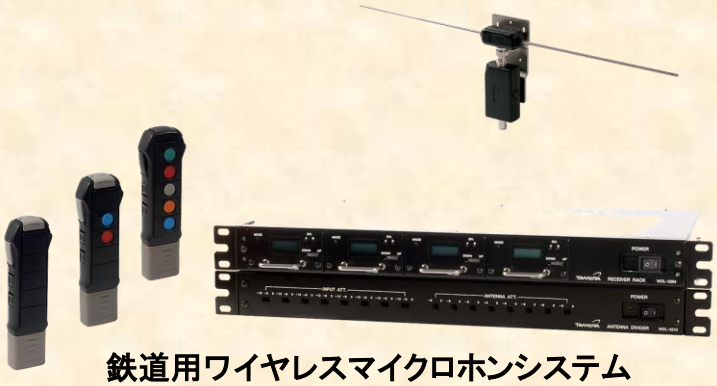
1）海外販売代理店（ｾﾞﾝﾊｲｻﾞｰ・ｱｼﾞｱ社）とのアセアン6カ国市場における
販売代理店契約を締結し、放送機器販売を開始

2）展示会などの積極出展
①ﾌﾞﾛｰﾄﾞｷｬｽﾄｱｼﾞｱ2006（6月開催、ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ）
②BirTV2006（8月開催、北京）

3）韓国市場へも韓国ﾀﾑﾗによる積極的な拡販活動開始
（6月のﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟ放送へも韓国TV局へ積極的なｻﾎﾟｰﾄ展開を実施予定）

AMQ5500

izm125

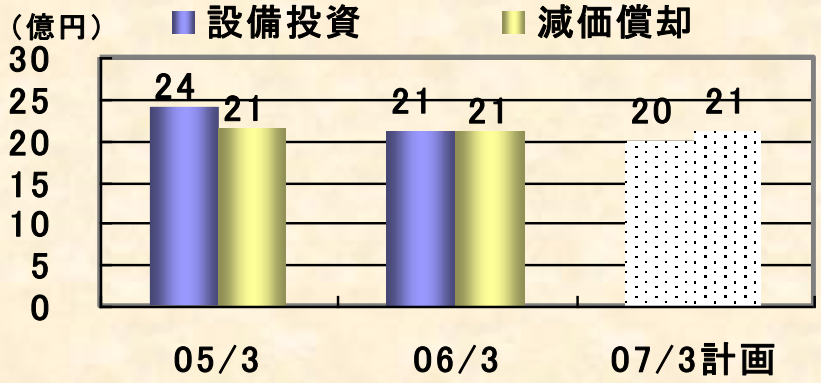

鉄道用ワイヤレスマイクロホンシステム

➢ 鉄道用ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸﾛﾌｫﾝの新製品投入によるｼｪｱ拡大

発車ﾍﾞﾙ制御など他社には無い機能を持つ新型鉄道用ﾜｲﾔﾚｽﾏｲｸﾛﾎﾝｼｽﾃﾑを今夏発売

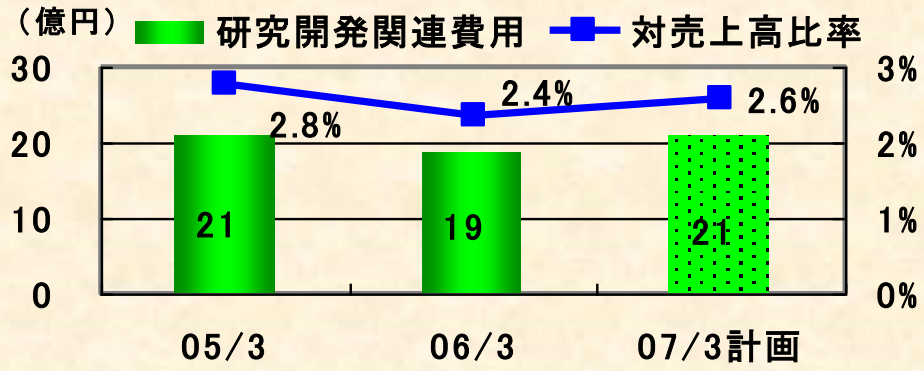
設備・研究開発投資の状況

■ 設備投資・減価償却費



・設備投資は、ERPの大口投資が終了し、通常の投資レベルに戻る。
・減価償却は概ね予定通りに推移

■ 研究開発関連費用



・選択と集中による効率的な開発を推進
  ・次世代ﾃﾞｼﾞﾀﾙ音声機器の開発
  ・ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾜｲﾔﾚｽ関連機器の開発
  ・磁性材料関連の研究開発
  ・ｾﾗﾐｯｸ事業の新用途向け材料・製品の研究開発
  ・自動車市場向け各種電子部品の開発
  ・鉛ﾌﾘｰをはじめとする各種の環境対応向け材料・装置の高性能製品の開発
  ・半導体市場向け実装材料・装置の研究開発

弊社からのお願い

業績等の計画につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績等は、市場の変化などにより計画と異なる結果になる可能性もあることをご承知おきください。

Ambitious

Tamura's Only One

TAMURA

The End